

別記様式第1号

「現場の創意工夫プロジェクト」計画書

《プロジェクト名 若者園芸実践塾による担い手育成と園芸農業生産拡大プロジェクト》

市町村	新庄市	対象地域	新庄市	分野	園芸
実施主体名	新庄市若者園芸実践塾運営協議会	代表者氏名	JA新庄市 代表理事理事長 山科和則	住所又は主たる事務所 の所在地・連絡先	新庄市沖の町10番37号 電話22-2111（新庄市農林課）
実施主体構成	JA新庄市、JA新庄もがみ、新庄市（3団体）				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	6,831千円（6,831千円）				
	独自の目標項目	新庄市では、農業従事者の減少と高齢化が進行する中、新たに農業を担う人材、特に青年農業者の育成・確保が急務である。若者園芸実践塾を創設し、園芸作物（主な実践品目 苺、トマト、トルコぎきょう、スノーボール、アスパラガス、おかひじき）の導入により稲作との複合経営を行い、個別農家の収入増加に貢献する。				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
	産出額	0千円	0千円	4,055千円	4,993千円	6,147千円
	独自の 目標項目	塾生 0人	5人	5人	5人	5人
プロジェクト 概要	◎実施方針	園芸作物等の栽培・経営ができる担い手を実践的に養成し、園芸農業の生産拡大を図る。				
	○産出額の増大	6,831千円				
	○雇用の創出	480人/日				
	○創意工夫	前回の実践塾は、販売はJA等の協力を得ていたが行政が運営主体として実施していた。今回はJAを中心とした運営協議会が実践塾の運営にあたり、生産物については勿論JAを通じての販売となり、JAと市が運営主体となって担い手育成や実践塾を行うのは県内初。				
	○実現性	実施主体はJAと市であり、専門技術を有した指導員により運営され、生産体制は充実している。また、経営や販売はJAと市が確実にバックアップしていく。				
	○地域への波及効果	塾卒業者は、地域の中核的リーダーとしての活躍が期待され、塾でとりあげた実践品目の栽培が普及し易くなる。				
	○その他	平成7年度から16年度まで10年間実施し、39名の卒塾者を輩出し、トルコぎきょうの産地としてその地位を高め花きの産出額を大幅に増やしている。この経験、実績を踏まえて新たな品目の産地形成を目指す。				

	実施年度（平成 22 年度）	実施年度（平成 23 年度）
事業内容	塾施設整備・塾運営（塾生徒 5名）	塾運営（塾生徒 5名）